

## 昨今のユニフォーム事情に思う

先日、秩父宮ラグビー場で第一回東日本選抜大会を見ていて、以前から抱いていた疑問がますます強くなるのを感じた。

ファッション性も、スマートさも全く感じられないラグビーメンのあのダサイシユミチヨロ姿は何とかならないだろうか。いまや、流行?となつたスパッツ、アンダーパンツ、サポーター等の乱用は、見方によっては見苦しく、見る者にとって不愉快ですらある。

四十年來ラグビーを愛し、いまも国内外を問わず、爽やかラグビーをエンジョイしている一熟年ファンとして苦言を呈するとともに、ここは、ラグビー協会の権威ある見解をお伺いしたい。

パンツの下につけるスパッツ類が、急に目立ちだしたのは昨年からだ、こんなことはかつてはなかったし、はっきり言って日本ラグビー界独特の品格のないスタイルだ。大学生に始まったこの悪習が、いまや全国の高校生ラグーメンまで蝕み、公式試合でさえ大流行となり、スパッツを身に付けない選手の方が、むしろ例外という有様である。昨年見かねた協会が、パンツと同系色のスパッツ類の着用を指導したが、これを機に、

逆に着用者が増えた感じさえある。

昨年、私はアイルランドと南アフリカのハイスクールで、ラグビーの指導者にこの点を尋ねてみたが、彼等は一様にそんな恰好では断固、ゲームには出場させないと言っていた。怪我をサポーターで隠すような自傷者はもちろん出場させないし、むしろ大きなパンツで小さなスパッツを隠してしまふ。仮りにそのまま出場したとしても、美的見地から好ましくないし、見ている人にも失礼だ、と厳しい口調で言っていた。

今年の五ヶ国対抗戦をテレビでご覧になった方はお気づきだろう。パンツの下にスパッツを身につけていた選手はほとんど皆無と言って良い。それに引き換え、日本の公式戦では、先日の東日本選抜大会出場の高校生ですら、大多数がパンツの下から長いスパッツをはみ出させ、スタンド最上段からはトレーニングパンツをはいているかのように見えた。

日本の高校生より、本場の一流選

手の方が、ことユニフォームに関しては真摯で純真なのである。

確かに怪我を防護している側面もあるかも知れない。しかし、若い高校生を預かる現場の教育指導者が、もう少しきちんと「高校生らしさ」を貫くように、平素より指導すべきであるし、監督する責任があると思う。悪しき風潮を黙って見過さないで、何故止めさせるように注意することができないのか、理解に苦しむ。

最近、高校野球に比べて、表面的には高校ラグビーが年々高校生らしい清々しさや、爽やかさを徐々に失いつつあるのも、そのだらしないうニフォーム姿に原因がないとは言えないと思う。

アマチュアスポーツ、ましてや高校スポーツは、お互いにもう少し清潔で爽やかなユニフォーム姿で精一杯奮闘して欲しいと思うのは、熟年ファンの欲目なのだろうか？

近藤節夫(東京)